

2024 **12**
No.144

衣奈八幡神社秋祭



季節の変わり目を感じる儀式

浦安の舞、浜の宮



由良町 

こんにちは！

議会です

発行／由良町議会 発行責任者／玉置 一郎

編集／議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1

TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226

E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

令和6年9月定例会

【会期】 9月10日～19日

令和6年9月定例会は、9月10日から19日までの10日間の日程で開催されました。

定例会には、報告2件、工事請負契約1件、条例一部改正2件、指定管理者指定1件、補正予算5件、決算認定6件の計17件の議案が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、認定しました。

また、議会から意見書1件の議案が提出され可決しました。

決算認定

一般会計決算・特別会計決算

認定

会計名	歳入	歳出
一般会計	43億 9,737万 7,455円	42億 1,786万 6,123円
国民健康保険特別会計	8億 3,552万 2,131円	8億 954万 2,384円
後期高齢者医療特別会計	1億 8,311万 4,446円	1億 8,260万 5,993円
介護保険特別会計	8億 4,587万 9,042円	7億 9,347万 2,842円
水道事業会計	6億 7,877万 5,287円	6億 4,828万 7,184円
下水道事業会計	8億 2,883万 4,374円	8億 2,919万 2,628円

議案審議

歳出予算の主な使い道

総務費

決算額
5億1,920万6,614円

- ふるさと納税事業
- 民間住宅家賃補助事業
- 新築住宅取得補助事業
- 移住支援事業

民生費

決算額
10億1,605万121円

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
- バス・タクシー運賃助成事業
- 子育て支援事業

衛生費

決算額
9億5,718万8,030円

- 母子保健事業
- 健康診査事業
- 新型コロナウイルス等予防接種事業

農林水産業費

決算額
1億1,207万8,251円

- 中山間地域等直接支払推進事業
- 農作物鳥獣害防止対策事業
- 農産物強化推進事業
- 水産業振興事業

商工費

決算額
6,920万9,667円

- 観光振興事業
- 白崎海洋公園内施設等補修工事
- 白崎海洋公園仮設道路設置工事

土木費

決算額
4億8,546万155円

- 町道3-127号線(小引)道路落石対策工事
- 町道3-123号線道路改良工事
- 橋梁補修設計及び補修工事
- 緊急対策事業
- 町営住宅補修工事

消防費

決算額
1億6,000万7,458円

- 防災行政無線戸別受信機貸与事業
- 地区復興計画等事前策定業務
- 避難誘導灯設置工事
- 防災関係資機材購入費

教育費

決算額
2億4,972万864円

- 学校給食費補助事業
- 由良中学校防球ネット修繕工事
- 中央公民館高压機器改修工事
- 里集会所修繕工事

一般質問

由良町の財政はどうなっているのか？

監査委員の審査意見

令和5年度の決算における実質収支については、一般会計1億1,559万4千円、国民健康保険特別会計2,598万円、後期高齢者医療特別会計50万9千円、介護保険特別会計5,240万6千円、水道事業会計の純利益については478万4千円、下水道事業会計の純利益については213万9千円とそれぞれ黒字となつてはいるものの、一般会計の実質単年度収支は7,650万9千円の赤字となりました。

厳しい財政運営に変わりはなく、より一層徹底した経費節減と効率的な予算執行に努めていただきたい。

経常収支比率については、昨年度から1.5ポイント減少し87.4%、実質公債費比率については0.6ポイント上昇の13.2%、将来負担比率については13.6ポイント減少し132.3%となっております。

本年1月、能登半島地震が発生しており、本町も南海トラフ地震が起こった際には、甚大な被害が想定されていることから、更なる防災対策の強化に努めていただきたい。



のだ さとし
野田 悟 監査委員



くせ のぶひろ
久世 修裕 監査委員

令和5年度 一般会計決算 - 歳出 -

総務費 移住支援事業補助金 300万円

問 【森議員】 どのような方が、この移住支援を受けられたのか。

答 【参事・産業振興課長】 県が実施している首都圏（東京）から由良町へ移住後リモートワークができる制度「和歌山県就活サイクルプロジェクト」に登録している民間3社の事業者へ、登録した移住者の方に対して補助金を交付しています。



問 【三好議員】 由良町へ移住してくれ、人口増加が最終的な目的なので、規制緩和をする体制づくりを考えては。

答 【参事・産業振興課長】 移住支援事業は、国、県の補助金を使っています。これには制度が決められ、町単独となりますと財政面も考え、検討もしていきたい。

教育費 スクールバス運行委託料

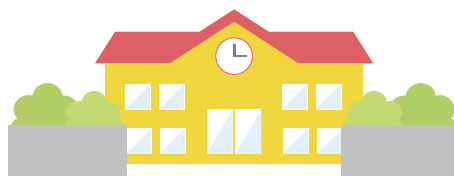
小学校 2,387万円・中学校 1,540万円

問

【山本議員】スクールバス運行委託料2,387万円、別の項目にもスクールバス運行委託料1,540万円とあるが、これはバスを別項目で委託しているから、委託料を両方に払っているということなのか。

答

【教育課長】スクールバス運行委託料は、小学校で令和5年度からの統合により新たに、バス3台とタクシー使用分で2,387万円、中学校はバス1台、タクシー、ジャンボタクシーで1,540万円にて運行しています。



問

【山本議員】これから子どもたちも少なくなってくる中で、どうにか乗り合わせできないか。

答

【教育課長】小学校の統合に際しまして、各種部会等で委員さんからも、そのような意見もありましたが、小・中学校の時間の違いや部活動の関係で、時間帯を合わせることが難しく、現状、離れた校舎では厳しいと思います。

教育費 自転車通学ヘルメット購入費 19万円



問

【三好議員】昨今、自転車にもヘルメット着用の努力義務が、課せられています。

しかし、中学生全員にヘルメットを配っているのに、学校外でヘルメットを被っている中学生はあまり見かけません。

やはり、意識を変えるのは幼いほうがいいと思うので、小学生にもオシャレなヘルメットを配ってはどうか。

答

【教育課長】今年、小学5～6年生に対して建設業協会から寄贈していただいたヘルメットは、そういったオシャレなタイプです。

これは中学生になっても着用できるようにしております。

今後、現中学1年生に贈っていただいたようなヘルメットの購入を検討しています。

土木費 空き家解体事業費補助金 300 万円

問

【三好議員】空き家解体工事費で300万円支出されていますが、申請件数と申請要件は。

答

【地域整備課副課長】令和3年度の解体は1件、令和4年度は4件、令和5年度は6件と年々件数も多くなってきています。

取り壊し費の2分の1もしくは最大50万円の補助金がでます。

建物として不安定で管理が十分でなく保安的に危ない「特定空き家」が補助対象となります。



水道事業 建設改良費

問

【川出議員】「只越配水池工事」で大きな事業は終わったと思いますが、今後、必要な対応は。

答

【上下水道課副課長】只越配水池は、由良町の配水池の中でも一番主要なものになります。これが更新、耐震化できたということは非常に満足しています。

今後、町内の配管工事等、その他の施設もありますが、現在、日高川周辺取水施設やポンプ施設の更新を進めています。



里浄水場

問

【川出議員】50年以上経過している里の浄水場の改修については今後、どう考えているのか。

答

【上下水道課長】里浄水場については、かなり古い施設で津波の浸水区域が課題です。

今後、修繕更新、長寿命化を進めていきます。

国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書

本年1月、能登半島地震が発生するなど、近年、我が国では自然災害が激甚化・頻発化しており、今後も切れ目なく国土強靱化に取り組むためには、中期計画の早期策定が求められる。

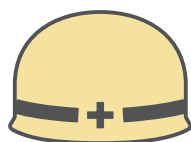
本町議会は、国民の生命と財産を守る防災・減災対策を継続的・安定的に実施するため「5か年加速化対策」の最終年度となる令和6年度補正予算においては、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、例年を大きく上回る規模で確保することを求める。

さらに「半島防災」という新たな視点を「国土強靱化実施中期計画」に取り入れ、できる

限り早期に策定し、当初予算を含め必要な予算・財源について通常予算とは別枠で確保するなど、国において、国土強靱化の取り組みを強力かつ計画的に推進するよう強く要請する。

【意見書の送付先】

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・国土交通大臣・内閣官房長官・国土強靱化担当大臣・内閣府特命担当大臣（防災）



議案第31号 由良町立ゆらくども園の指定管理者 「社会福祉法人 檸檬会^{れもん}」

問

【川出議員】指定管理期間は5年間、少子化のスピードが早い状況だが。

答

【教育課副課長】町の人口見込数と人口に対する入園割合から算定すると、この先5年間は、80人台後半から90人台後半であると見込まれます。



問

【三上議員】再度、契約をし直す形となるが、契約内容は変わるのか。

答

【教育課副課長】毎年、年度契約を結びお互い話し合いをして、指定管理上の加算内容等を検討し、精算を行い、指定管理料が決定します。

契約

可決

議案第28号 町道3-123号線道路改良

その1工事請負契約の締結 1億3,777万600円



衣奈～三尾川間道路改良工事中の風景

令和6年度一般会計 補正

可決

議案第36号水道事業 給水車両購入費 800万円

問

【三好議員】1台の給水車で、どれくらいの給水が可能か。

答

【上下水道課副課長】小さな給水袋6ℓを166袋給水可能です。

問

【三上議員】給水車は、4輪駆動か。
緊急の場合も考えているのか。

答

【上下水道課長】1.25トン積みトラックで2輪駆動のガソリン仕様です。
普通免許で運転できることから、緊急対応が可能です。



	一	般	質	問
---	---	---	---	---

議員が町行政の問題などを問いたす「一般質問」は、9月10日に行われ、7名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。

- 1 岩崎 清和 議員P9
由良町に活力と明るさを
- 2 野田 悟 議員P10
1、敬老会開催について 2、鳥獣被害の増加について
3、地域自治を変えるには
- 3 川出 純 議員P11
1、国道 42 号畑一広川町井関間改良工事の進捗状況は
2、健康保険証の存続を
- 4 森 三枝子 議員P12
地震津波対策について
- 5 山口 太志 議員P13
1、獣害対策について
2、南海トラフ地震臨時情報の発表に伴う町の対応について
- 6 岩崎 武司 議員P14
由良町内の学校教育の現状について
- 7 三上 幸夫 議員P15
1、財政健全化について 2、防災、施設管理について

由良町をもっと明るく
元気にしよう

議員

今の由良町は、元気がなさすぎます。かつて開かれていた由良ふるさとフェスティバル、そして、各地の盆踊り大会やカラオケ大会など、多くの町民や若者や子ども達と一緒に楽しめる企画などを町に求めます。

子どもたちの笑い声、若者たちの活気ある声、高齢者たちが楽しく長生きできる町を作ってほしいと思います。

町長

議員が言われる「由良町をもっと明るく元気に」という思いは、私も同感でございます。



いわさき きよかず
岩崎 清和
議員

ふるさとフェスティバルは、観光協会が主体でやっていました。

ふれあい祭りは、実行委員会があり、運営をしていただいております。

現在、途絶えており、団体の方々が、またやるぞというのであれば、支援していきたいと思っています。

由良町も、来年1月、町制施行70周年を迎えます。

この記念すべき節目に、幅広い世代の皆さんが楽しめるようなイベントを考えたいです。

また町としては、自治会と一般社団法人と連携を組みながらの活動、廃校を利用した取り組み等、このような団体、自治会に対して支援を考えています。





のだ さとし
野田 悟
議員

1 敬老会開催について

議員

昨年の9月議会で、近隣町では歌手などを呼んで華やかに敬老会を開催されているので、私が質問したところ、同様な敬老会は難しいが、何らかの形で開催を検討したいと答弁がありました。開催の話がありませんが、どのように考えているのか。

町長

町主催での敬老会については、開催しません。地区等で敬老会を開催していただき、それに対して補助を行うということを考えています。

住民福祉課長

できるだけ早い時期に、区長会等を通じて提案させていただき、広報等でお知らせします。

2 鳥獣被害の増加について

議員

海岸周辺では猿の被害が増え、野菜等が作れないという話を聞きます。昨年より由良町は、獣害パトロールをしています、運用の形態はよくわかりません。

町長

鳥獣被害について、令和5年度の被害面積は2.78ヘクタールで被害総額は644万9千円、捕獲数は463頭、被害面積は減少傾向です。

全体的には被害は減少していますが、鹿による被害は年々増加しています。

集落支援員の活動は、有害鳥獣の捕獲、個体数の確認、猟友会のサポートなどです。

業務形態は、明け方に出勤し、見回りと追い払い、そして、日の出後は山に登って有害鳥獣の捕獲を行っています。

令和5年度には、2名任用、本年度は1名で活動中です。

3 地域自治を変えるには

議員

先日、テレビでとある過疎の町の町民が自分たちで人を集め、住民主体の地域活動が始まり、助け合う仕組みができたと報道されていました。

由良町もいろいろな施策を実施し、人口増加につながる予算がありますが、なかなか成果につながっていないように思います。発想の転換で、各地区を元気にする施策をできないものか。

町長

各地区の自治会における状況は様々ですが、町において、できることがあれば積極的に支援をしていければと考えています。

イベントを受け持ってくれる団体が、なかなか出てきません。

そんな中で、本当にやる気のあるところに支援をしていきたいと思っています。



1 健康保険証の存続を

議員

マイナンバー（個人通知カード）は、もともとあるのに、岸田政権は、本年度秋に健康保険証を廃止しようとしています。

「もともとパソコンに強い方にとっては、非常に便利な制度だが」と町内の方からのお声をよく耳にします。そこで、国からはどんな指示があるのか。

町長

健康保険証は、国から示されたマイナンバーカードと原則一本化の方針に基づき、令和6年12月2日に廃止され、新規発行や再発行が終了します。

ただし、12月2日時点でお手元にある健康保険証は改正法の経過措置によって、



かわで じゅん
川出 純
議員

最長1年間は引き続き使用可能ですが、本町が交付している和歌山県国民健康保険被保険者証は、令和7年3月31日まで、和歌山県後期高齢者医療広域連合が交付している後期高齢者医療被保険者証は、令和7年7月31日までの有効期限となっています。

また、健康保険証の廃止後、マイナンバーカードをお持ちでない方、またはマイナンバーカードをお持ちになっているが保険証利用登録をされていない方には、保険者から「資格確認書」が交付されます。

2 国道42号畑く広川町井関間改良工事の進捗状況は

議員

昨年の答弁を読み返しますと、令和4年度に2か所のボーリング調査を実施し、地層の把握、局所的な断層の配置や破碎帯の確認、令和5年度には地下水の状況や追加のボーリングなどが行われましたが、その後の進捗状況は、

町長

令和元年、初めて調査費が予算化されて以来、毎年調査を実施しており、今年度についてもルート決定に向けて、ボーリング調査を実施するとのことで、着実に前進していると考えています。

早期に事業化されるよう、各機関のお力添えもいただきながら、町民の悲願でもある事業化に向けて、熱い思いを伝えていきます。





もり みえこ
森 三枝子
議員

地震津波対策について

議員

今年1月、能登半島で大地震により津波が発生し、たくさんのお家が倒壊、そして、火災などで未だ復旧が進んでいないのが現状です。

8月にも宮崎県沖で地震があり、南海トラフ地震に影響するとの見解から、和歌山県も南海トラフ地震の臨時情報（巨大地震注意）が発令されました。

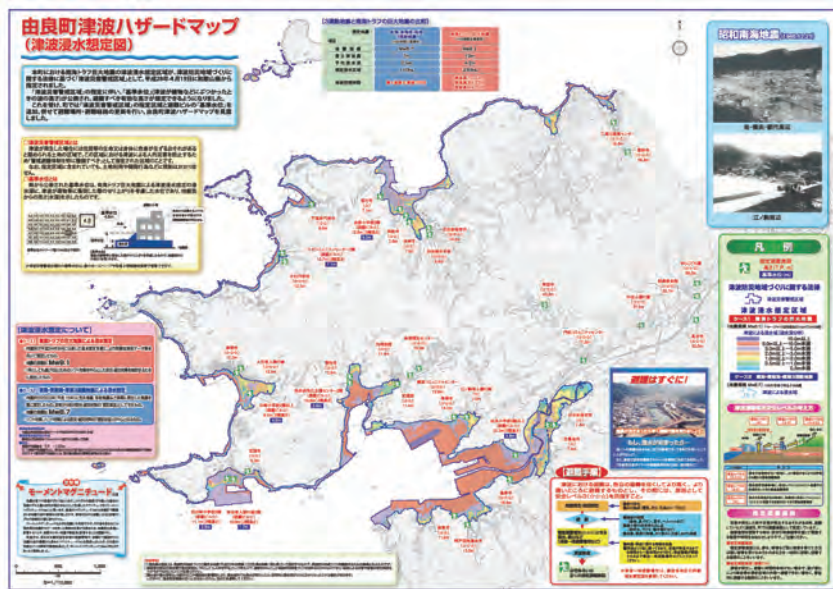
実際、南海トラフの大地震が起これば、由良町も大規模な被害が想定されています。

議会でも、震災時は自助、共助で避難してくださいとの話はよく聞きますが、公助である避難道路、避難場所の必要地区への設置は進んでいるのか。



由良町津波ハザードマップ QRコード

<http://www.town.yura.wakayama.jp/docs/2014011700567/>



由良町津波ハザードマップ

町長

避難道路、避難場所の必要地区への設置については、先日、里地内のゆら柑橘撰果場を紀州農業協同組合との間で、「一時避難場所としての活用等に関する使用貸借契約」の締結を行ったところです。

今後、撰果場内の機械設備の撤去を行い、撰果場施設の改修等も考えながら、一時避難場所や備蓄物資の保管場所として使用していきます。

令和5年度、江ノ駒区に防災倉庫の設置、横浜区の北山の避難場所の測量設計を行いました。

今年度においては、当該避難場所に防災倉庫の設置を行います。

また住民の方には、住宅の耐震促進事業やブロック塀の補助等を活用していただければと思っています。



1 獣害対策について

議員

農業者、特にミカン農家さんが悲鳴をあげています。

「花火を鳴らしているが、音に慣れると効き目がない」というような大変な事態になりつつあるので、獣害の駆除対策を是非ともお願いしたい。

町長

鳥獣害対策の現状は、捕獲、追い払いなど一定の成果を得られているが、高齢化や農業従事者の減少等により厳しい状況となっています。

わな猟の狩猟免許取得者は年々増えており、令和4年度は2名、昨年度は7名、今年度も7名の方が免許を取得され、農



やまぐち
山口

ふとし
太志
議員

業者の方が自分たちで守る意識が芽生えている証拠だと思っています。
また、獣害対策は、地域ぐるみで取り組むことが最も効果的であると考えていますので、各地区の獣害防止組合にも要望に応じた補助を行っています。

2 南海トラフ地震臨時情報の発表について

議員

観光に携わる事業者が多い中で、今回臨時情報（巨大地震注意）が発表されたことによりキャンセルが多く、海のレジャー客が減少している。

町は観光に対して、今後の対応をどのように考えているのか。

町長

町単独で、観光客の減少を食い止める何らかの具体的な策を講じることは、難しいと考えています。

海岸沿いの観光が避けられるような風潮にならないように、引き続き、白崎海岸を中心とした海の魅力を伝えながら、観光振興に取り組んでいきます。

また、津波等の情報があつた場合、町として迅速な情報を提供していきたいと思っています。



白崎クルーズ



いわさき たけし
岩崎 武司 議員

学校教育の現状について

議員

学校教育について、2点お聞きします。

急ピッチで進められたGIGAスクール構想、これはグローバル社会、デジタル社会にあつてタブレットを道具として自由に使いこなし、世界最先端の情報にアクセスし、外国人とも論議できる思考力、判断力に重きが置かれる21世紀型の学力への転換です。

町においても、その軸となる校内通信ネットワーク整備と児童・生徒1人1台端末の整備が、現場の多大なるご苦労の中で実現されていると聞いております。

①現在のICT活用状況

②本年度の児童・生徒の学力の状況と

全国学力・学習状況調査の結果

をお聞きします。

教育長

①現在、町内小中学校のICT活用の状況については、特徴的な活用例として、教師が授業において、写真、図、グラフなどの資料をわかりやすく提示することができ、それを児童生徒の学習端末に転送し、集中して学習できる環境が整うようになりました。

学習者である児童生徒の視点からは、カメラ機能が搭載されており、観察や実験、活動場面において、記録した画像や動画を見て、学習を振り返ったり、深めたりできるようになりました。

また、端末に書き込んだ自分の考えや意見を大型画面に提示して瞬時に他人の考えや意見と比べられるようになり、時間的な効率が図られ、対話的、協動的な学びの授業形態に変化が見られるようになりました。

さらに、デジタルドリルの導入により、朝学習や家庭学習において、個々の課題に応じた学習に取り組むことができ、個別最適な学習が進められ、児童生徒の学習意欲の向上につながっています。

オンライン授業においては、コロナ禍や気象警報等による休校時や不登校児童

生徒を対象に学習権の保障の観点から、ほぼ毎日実施しています。

②本年度の児童生徒の学力の状況と、全国学力学習状況調査の結果については、小学校では、国語は全国・県平均と比較しても5ポイント高く、算数も全国平均と比較して5ポイント、県平均と比較しても4ポイント高い状況です。

中学校では、国語・数学ともに県平均と同様ですが、全国平均と比較すると国語は4ポイント、数学は3ポイント下回っています。

全国学力・学習状況調査

【国語】由良町小学校平均

【国語】全国平均

全国平均
+5ポイント

【算数】由良町小学校平均

【算数】全国平均

全国平均
+5ポイント

【国語】由良町中学校平均

【国語】全国平均

全国平均
-4ポイント

【数学】由良町中学校平均

【数学】全国平均

全国平均
-3ポイント



今後の課題点

・記述式問題・情報の要約・データの読み取りや説明

1 財政健全化について

議員

令和5年度会計決算等で、監査委員から審査の個別的な意見として、

①健全財政の堅持に努められたい。

②一層徹底的な経費節減と効率的な予算執行に努められたい。

との意見が毎年出ているが、町長は、健全財政に向けて、どのような方法で進めていくのか。

町長

①財政力指数は0.256と低く、地方交付税に依存しなければ財政運営が困難です。

経常収支比率は87.4%で財政構造の硬化化が見られ、多額の財源を要する臨時的な事業を行っていくことが困難です。



ゆきお 幸夫 議員
みかみ 三上

実質公債費比率は13.2%と早期健全化基準の25.0%を下回っていますが、県内や類似団体と比較すると高く、地方交付税に依存し、公債費等の義務的経費が占める割合も高いため厳しい財政状況であると感じています。

②健全財政に向けて予算編成の段階から、予算要求時、経費の削減を行い、今後も引き続き経費の削減ができることは徹底して行い、健全財政の堅持に努めてまいります。

2 防災、施設管理について

議員

宮崎県沖地震発生により、東南海・南海地震、津波、迷走した台風など自然災害に関心が向いています。

役場の会議では、公用車を高台に避難させるぐらいで、町民を守る準備など考えているのか。

ゲート、門扉など、管理者が対応してくれない時、他力に頼ることなく町が代わりに対処できないのか。

災害の対処についての考え方、備えがずさんと考えてるが。

町長

能登半島の地震を目の当たりにして、近い将来必ず起こると言われる大災害への備えが、いまだ道半ばであることに危機感を覚えております。

町民の生命、財産を守るために、災害に強いまちづくりを推し進めなければならないと考えています。

水門などの管理については、設置者である県と町との間において、操作に関する協定を締結しており、異常気象または地震等により大津波警報等が発令された場合、町において操作業務を行うことになっています。

そして、操作業務は、消防団と連携し対応しているところです。



由良町役場付近の門扉



来秋、 農家民宿開業へ

すずき りょうや
- 地域おこし協力隊 鈴木 亮哉さん -



地域おこし協力隊 鈴木亮哉さんのプロフィール

【愛知県日進市出身 27歳】

観光系の大学を卒業後、2022年4月から由良町地域おこし協力隊として活動。

2025年3月中旬に卒隊し、10月から地域体験を売りにした宿泊施設を開業予定。



食事は町内の
野菜や魚介を
使って提供！

地域に根を張り、
思いをつないで

地域の皆様に助けてもらったからこそ今があるので、由良町に根付いて、ゆくゆくは僕のような移住者を支援できるようになりたい。



協力隊としての活動

- ・移住定住の業務(空き家バンクの登録、移住希望者に向けて町内案内、移住相談会に移住者としての参加)
- ・ユラ暮らしインターンの運営(10日間の農業インターンでこれまでに関係構築してきた地域事業者と協力し、町内で就農してもらえるように農作業、座学、移住体験などを提供)
- ・学生の受入(県が運営するわかやまCREWという地域と学生を繋げるサイトにて、昨年6月から累計で22名の学生を受入。サイト内で今年一番人気のプログラムに)

議会広報編集委員会

委員長	山本 大
副委員長	岩崎 清和
委員	三上 幸夫
委員	山口 太志
委員	川出 純
委員	岩崎 武司

(幸)
今年も衣奈まつり、由良まつりが昨年と同じように開催され、まだ暑さが残る中、まつりができる喜びの声が聞こえました。



衣奈祭

由良早生ミカンと、柿がおいしい季節になりました。

編集後記